

ひみのふくし

3

2023 Mar
No.415

企画・発行

社会福祉法人 氷見市社会福祉協議会

〒935-0025 富山県氷見市鞍川975

TEL 0766-74-8407

<http://www.himi-shakyo.jp>

この広報誌は皆さんからの会費、
共同募金の助成金により発行
されています。



令和4年度 氷見市社会福祉協議会会長表彰・会長感謝を受けられた皆さん

2月5日(日)、地域福祉活動へのご尽力、ご貢献に敬意を表し、

氷見市社会福祉協議会会長表彰及び感謝状の贈呈式を行いました。

受賞者を代表し、野岸 伸さんが「誰もが安心して暮らせる地域づくりに励みます」と謝辞を述べられました。

【氷見市社会福祉協議会会長表彰】(五十音順・敬称略)

〈被表彰者〉	〈住所〉	〈推薦団体〉
穴倉 務	(大野)	上庄地区社会福祉協議会
稲積 裕美	(伊勢大町)	氷見市母子寡婦福祉連合会
小嶋 明子	(余川)	余川地区社会福祉協議会
坂下 正治	(大境)	宇波地区社会福祉協議会
杉本 恵子	(久目)	久目地区社会福祉協議会
中田 暢子	(川尻)	十二町校下社会福祉協議会

〈被表彰者〉	〈住所〉	〈推薦団体〉
中村 ゆり子	(阿尾)	阿尾地区社会福祉協議会
中山 きよ子	(柳田)	窪校区社会福祉協議会
西森 誠一	(島尾)	氷見市身体障害者協会
野岸 伸	(柳田)	宮田地区社会福祉協議会
氷見ライオンズクラブ		氷見市ボランティア総合センター運営委員会
山口 佐智子	(飯久保)	布勢地区社会福祉協議会

【氷見市社会福祉協議会感謝状】(順不同・敬称略)

(株)三ノ宮燃料・(株)三ノ宮住設
氷見市農業協同組合
福田 秀夫

▼CONTENTS▼

- ◆氷見市社会福祉協議会会長表彰・感謝状の贈呈式 …1ページ
- ◆地域の課題に高校生が挑む ～未来講座HIMI学 福祉班の挑戦～ …2ページ
- ◆つながり続けるふくし vol.3 「旧川西商店」
- ◆赤い羽根共同募金レポート No.3 …3ページ
- ◆ボランティア活動保険 更新のお知らせ ◆世界自閉症啓発デー ◆各種お知らせ …4ページ

地域の課題に高校生が挑む

～未来講座HIMI学 福祉班の挑戦～

富山県立氷見高校(以下、氷見高校)では毎年、1年生の生徒が、自ら問いや仮説を立て検証、思考することを繰り返しながら主体的に学ぶオリジナル授業「未来講座HIMI学」を実施しています。今年度は生活福祉科の福祉班24名が氷見市社会福祉協議会(以下、氷見市社協)と協働し、身近な福祉課題の解決に取り組みました。生徒たちによる挑戦の1年間を振り返ります。



氷見市社協の職員から氷見市の地域福祉の現状を聞く生徒▶



「現状」を知る
まず初めに、氷見市の地域福祉の現状を聞き、生徒一人ひとりが自らの興味・関心があるテーマを設定しました。
テーマを決めた後は、現状を知るためフィールドワークを行いました。市内の実践者から実践や課題を聞き、時に活動を体験することで、生徒たちは少しずつ「自分たちができること」を考え、ていきました。

こども食堂でフィールドワーク!



集まった制服を仕分ける生徒たち

実践!
自分たちの想いを形に!
「eスポーツでサロンを盛り上げたい」と考えたグループは、実際に体験会を企画・実施し、約40名が参加しました。
また、経済的な事情から中学校や高校の制服を準備することが難しい世帯があることを課題と感じたグループは、制服の寄付を校内で募る取り組みを行いました。集まった制服は市内の有志クリーニング店で保管され、氷見市社協を通して必要な方に提供されます。全グループの取り組みについては、氷見市ボランティア総合センター公式SNSで紹介しています。是非チェックしてみてください。

自分たちで考えた音楽レクリエーションで高齢者と交流!



地域に学ぶ、地域と学ぶ

今回の取り組みで得た学びは、生徒自身の考え方や進路、そして地元氷見に対する理解や愛着にもつながっていきます。地域にとっても、高校生との交流が新たな活動のヒントや刺激となり、双方にとって貴重な学びの機会となりました。

氷見市社協では今後も学校や地域と一緒に、福祉や地域を学ぶ機会をつくっていきます。

eスポーツ体験会の企画をする中で、地域の方の「もっとこんなことがしたい」という想いを知ることができました。これからも自分たちができることを考えて地域と関わっていきたくです。



氷見高校1年 角田 早織さん



まちなかサロンひみ運営委員長 宮永 志朗さん



高校生は地域の声を聞いた上でサロンの活性化のアイデアを形にしてくれました。若い力の大切さを感じるとともに、私たちもできる事を続けていきたいと思いました。

Information 氷見市ボランティア総合センター

〒935-0011 氷見市中央町12-21(氷見市いきいき元気館内) TEL:74-1800 FAX:74-8055
受付時間 8:30~22:00(年末年始を除く) メール: himi-volunteer@bz3.hi-ho.ne.jp



Facebook



Instagram

つながり続けるふくし vol.3

コロナ禍が長引き、社会とのつながりが途切れて孤立を深め、困りごとを抱え込んでしまう人がいます。地域社会とのつながりを絶やさないための取組みを紹介します。

旧川西商店 (地域おこし協力隊 伊藤野々香さん)

中山間地の久目地区触坂で、80年にわたり地区住民に愛されたお店「川西商店」が閉店して2年。

昨年3月、伊藤さんの「皆が気軽に集える場になれば」との思いから、大家さんや地区住民の方々とともに改修し、壁に漆喰を塗ったり、地区全戸配布の「久目だより」に作業の進捗状況を載せたりすること約8か月、住民に愛されていた店の名を残すため、名称は「旧川西商店」とし、新たな居場所として生まれ変わりました。

11月のお披露目会に訪れた住民からは「以前は、人が自然に集まり、色んな話をしたまり場になっていた」「家から近いので、孫が来る日のアイスはここで買っていった」など懐かしむ声がありました。

今春から、民泊&コミュニティスペースとしての活用を目指しており、早速、地区住民から、友人との茶話会で使いたいと要望が出ています。伊藤さんは、「川西商店はお店だけでなく、住民同士の集いの場でもあったので、その大切な要素や思い出を次の時代にも繋げたい」と抱負を語ります。



新たな居場所で過ごすゆったりした時間



懐かしい写真に話が弾みます



変わらない馴染みある外観



赤い羽根共同募金レポート No.3

令和4年度共同募金運動にご協力いただき、ありがとうございました。今年度ご協力いただいた募金は、次年度の共同募金配分金として活用されます。



海峰小学校共同募金贈呈式

海峰小学校では毎年全校生徒が集めた募金を代表の児童から氷見市共同募金委員会に贈呈する贈呈式を開催しています。

また、市内の全ての小中学校で児童生徒の皆さんが共同募金運動に参加くださいました。皆さんの気持ちがたくさん詰まった募金、ありがとうございました。共同募金では、子どもたちが安心して暮らし成長できる地域をつくる活動も応援しています。



海峰小学校代表児童(右)と氷見市共同募金委員会 七分委員(左)

配分団体インタビュー

ひみ子育てネットワーク会議

Q.団体の活動について教えてください。

ひみ子育てネットワーク会議は、市内の子育てに関わる各種機関・団体と行政が連携して皆さんの子育てを支え、地域の子育て支援活動のスキルアップや活性化を目標に活動しています。

Q.共同募金配分金の使い道を教えてください。

令和4年度は、市内14の地域にある「地区子育てサークル」と8か所の「子育て支援拠点」に、母子保健に関わる講師(歯磨きや離乳食の助言等)を合計22回派遣する事業と、4年ぶりに開催した「ひみ子育てわいわいフェスタ2022」という親子イベントの開催に活用しました。

子どもが安心して成長するためには、保護者が安心して子育てできる環境づくりがとても大切です。講師の派遣

やイベントの開催によって、親のスキルアップやリフレッシュに繋がり、子育ての仲間や先輩、プロと交流できるとても大切な場となっています。



ひみ子育てわいわいフェスタ2022 当日の様子

Q.市民のみなさんにメッセージをお願いします。

共同募金へのご協力ありがとうございました。少子化に加えてコロナ禍も重なり大変な時期ですが、ネットワーク会議の関係者一同様々な子育て支援事業を頑張っています。子育て中の方に心をお寄せいただき、子育てにあたたかい氷見市を一緒につくっていただければ嬉しいです。

4/2は 世界自閉症啓発デー

毎年4月2日～8日「発達障害啓発週間」

毎年4月2日は国際連合が定めた「世界自閉症啓発デー」です。日本では「世界自閉症啓発デー」からの1週間を「発達障害啓発週間」と定め、東京タワーをはじめ全国各地でテーマカラーのブルーに染まる啓発活動が行われます。

啓発活動を通して、多くの方に自閉症を含む発達障害について広く知ってもらう機会としています。期間中は、下記の場所にて、市内在住の障害のある方が手掛けた作品を展示しています。是非、この機会に足を運んでみませんか。

作品展示コーナー

期間 令和5年4月1日(土)～4月9日(日)

場所 ブラファッションセンター



個性豊かな作品(令和4年度)

Information ふくし相談サポートセンター

〒935-8686 氷見市鞍川1060(氷見市役所内)
TEL:30-2937 FAX:30-2913 受付時間 平日8:30～17:15

ボランティア活動保険 更新のお知らせ

令和4年度に加入されたボランティア活動保険は、令和5年3月31日で補償期間が終了します。4月以降の活動の前に、令和5年度の加入手続きをお願いします。

令和5年度分の加入手続きは
3月13日(月)から受け付けます。



ボランティア活動中のケガや事故は、誰にでも起こる可能性があります。ボランティア活動保険に加入することで、活動をする側も受け入れる側も安心してボランティア活動を行うことができます。

こんな時にも保険が適用されます

(例1)

清掃ボランティア活動中に誤って施設内の物品を壊してしまった

(例2)

ボランティア活動中、転んでケガをしたため、通院した



その他、活動中の熱中症や食中毒になった場合にも保険が適用されます。

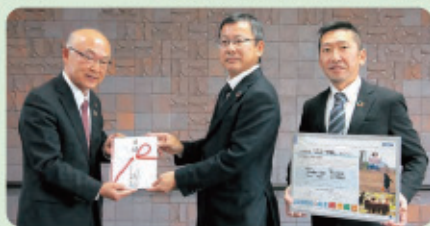
Information 氷見市ボランティア総合センター

〒935-0011 氷見市中央町12-21(氷見市いきいき元気館内)
TEL:74-1800 FAX:74-8055 受付時間 8:30～22:00

ありがとうございます

遊休品、寄付金のご寄付をいただきました

令和4年12月12日(月)、日本ゼオン株式会社「ここ・つな」贈呈式を実施しました。「ここ・つな」とは、「こころつながる氷見(ここ)でつながる」をテーマに労使共催で社員の皆様より遊休品を寄付いただく取り組みです。寄付いただいた遊休品は、市社協で実施している「遊休品バンク ぐすちやー⇄ぐかすちやー」で活用します。



日本ゼオン(株) 鍋島組合支部長(右)・七瀬工場長(中央)と市社協 七分常務理事(左)



日本ゼオン(株) 鍋島組合支部長(左)とひみキキキども食堂ネットワーク 向代表(右)

令和5年1月30日(月)、同じく日本ゼオン株式会社より、年末に社員から募った寄付金13万3900円がひみキキキども食堂ネットワークに贈呈されました。いただいた寄付金は、市内ども食堂の運営に活用します。

ご寄付をありがとうございます

令和5年1月1日～31日受入分(敬称略・受付順)紙上を借りて厚くお礼申し上げます。

【福祉基金】 匿名 1,000円

【ボランティア寄付金】 匿名 20,000円

地域福祉の推進に活用させていただきます



今月の表紙レビュー

笑顔輝く瞬間



会長が一人ひとりに表彰状をお渡し致しました。長年にわたる地域福祉へのご貢献に、式典を見守った誰もが尊敬の念を抱き、皆さんの笑顔がまぶしい式典となりました。これからの益々のご活躍をお祈りしています。